

ジュゴン Vol.62

ちゃんぷるニュース



2012. 5. 22

CONTENTS



- 2 情勢
- 総会報告
- 3 政府交渉で明らかになったこと
- 5 あっちでこっちでジュゴンでトレイン
- 6/7 おきなわ便り
- コラム「韓国に入学拒否された訳」
- 8 お知らせ

今年は沖縄が日本から切り離されたサンフランシスコ講和条約が発効して60年。そして、本土復帰40周年です。SDCCの会員にも40年前の沖縄のことを知らない人は(生まれていなかった人は)多いのではないのでしょうか？

40年の節目 光さすジュゴン

40年前の沖縄は米国に統治され、通貨は「ドル」、交通方法も人は左、車は右側通行の左ハンドルでした。沖縄から本土に渡るのにパスポートが必要だったのです。米国は司法、行政、立法のあらゆる権限を持っていました。基地建設のために住民の土地を強制接収し、米軍人による事件・事故では加害者米兵が軍法会議で無罪になるなど沖縄の人は日常的に人権を脅かされている状況でした。県民は「米国支配から平和憲法の下へ」と本土復帰を願い、講和条約締結の4月28日を「屈辱の日」として、国境の北緯27度線の海上集会を続け、40年前に本土復帰が実現しました。

その海上集会が復帰40周年の節目に再現されました。復帰後も沖縄には米軍基地が集中し、軍事演習で自然環境が破壊され、普天間基地移設問題で翻弄され、米兵の事件・事故では日米地位協定の壁が立ちはだかり、重い負担を強いられる等、変わらない現状が続いていますが、「元気に泳いでいます」とのジュゴン報道に光を感じました。海上集会の取材終了後のヘリコプターが、沖合いをゆったりと泳ぐジュゴンの姿を撮影していたのです。節目節目に現れるジュゴンは、やっぱり「平和の神・龍宮神」なのでしょう。

日本政府は、沖縄県民総意の「基地は国外・県外へ」の声を無視して「辺野古に基地を」と画策しています。海草藻場がつぶされるとジュゴンは生きられません。藻場があればこそジュゴンも棲むことができます。辺野古・大浦湾の海は生物多様性を誇る豊かな海です。守るべき海です。

今年9月に韓国・済州島で開催されるIUCN(国際自然保護連合)の第5回世界自然保護会議で「辺野古に基地ではなくジュゴンの保護区を」とジュゴン・フラッグでアピールします。ご協力をお願いします。(首都圏 宮城詔子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



アースデイ東京で披露したじゅごんロック。多くの方の注目を集めました(5面)

2012 済州島へ行こう!

SDCC ハングル 講座~

— 第3回: 買い物する際に使ってみましょう —

◆이것 얼마예요? (これ、いくらですか)

イゴッ オルマエヨ

◆이것 주세요. (これ、ください)

イゴッ チュセヨ

情勢

IUCN決議の履行を求めて～辺野古移設を断念させよう!

4月30日にワシントンで日米首脳会談が行われました。共同声明には懸案の米軍普天間基地の返還・移設を触れることができませんでした。事前に行われた日米安全保障協議委員会(2+2)合意文書の「(辺野古移設が)唯一の有効な解決策」が、米国議会の反対で辺野古以外への移設に含みを残す「これまでに特定された唯一の有効な解決策」と修正されたからです。閉鎖・返還こそ解決策なのです。

4月27日には防衛省で、普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価に関する有識者研究会第1回会合が開かれました。席上、田中防衛大臣が「期限を区切らずに丁寧に補正を進めていきたい」と挨拶しました。辺野古移設を焦っていた防衛省が、評価補正から公告縦覧、そして公有水面埋め立て申請のスケジュールを明らかにできなかったのです。有識者研究会の公開と市民参加を求めましょう。

一方、米国は普天間基地への垂直離着陸輸送機MV22オスプレイを7月に配備する計画を進め

ています。世界一危険な普天間基地に、事故が多発しているオスプレイを配備するなど「沖縄の負担を軽減」に逆行するものです。鳴り物入りの嘉手納以南の5基地13区域の返還でさえ、返還時期は明らかにされていません。それどころか、日米共同声明では南西諸島の警戒監視行動など「動的防衛力の構築」を図る自衛隊と、アジア太平洋を重視する米軍が連携を深める方針を確認しています。「在日米軍再編見直し」は沖縄県民の負担軽減のためではなく、日米軍事同盟強化のためなのです。

今年は沖縄復帰40周年。基地のない島・沖縄を求める人々は、本土と沖縄を結び5月平和行進を取り組んでいます。6月17日には宜野湾市民がオスプレイ配備反対集会を5千人規模で準備しています。9月IUCN世界会議(韓国済州島)はきわめて重要な局面で開かれます。沖縄ジュゴン保護を求めるIUCN決議の履行を日米政府に求める世論をいっそう高めることが重要になっています。



第12回SDCC総会報告

4月21日(土)夜、都内で第12回総会を持ちました。まず「IUCNにむけて知識を豊富に」をテーマに、9月IUCNの全体像と取り組み方針が報告・提案されました。スタッフの正阿彌崇子さんからフィリピンの「クリティカル・ハビタット(小規模の保護区)」が報告され、日本自然保護協会の安部真理子さんからは、大浦湾のアオサンゴ群集保護の自主ルールづくりの実践報告がされました。今年のノレッジ・カフェの予行演習となりました。

海勢頭豊代表のあいさつでは、IUCN開催中の9月12日(火)に韓国NGOと共催で平和コンサートを取り組むことが報告されました。連帯のあいさつで、花輪伸一さん(ラムネットジャパン共同代表)からは「防衛省のアセス評価書補正の有識者研究会の公開と参加を求める取り組み」が呼びかけられました。事務局からは総括・方針案、決算・予算案が提案され、各地域からも1年間の取り組みや、財政報告がありました。当面、6月東京・中野ゼロと大阪・吹田での写真展や、7月ジュゴンの里ツアーを成功させ

正阿彌崇子さん

安部真理子さん

花輪伸一さん



て、ジュゴンフラッグ1000枚、署名の6万5千筆を達成すること。IUCN記念缶バッジと一筆箋NO.2、読者拡大で財政強化を図ることを確認しました。人事は海勢頭豊代表をはじめ従来の体制を確認して総会を終えました。(事務局 蛭川義章)

4/20政府交渉で明らかになったこと

4月20日に外務省、防衛省、環境省と交渉しました。辺野古アセス評価書への沖縄県知事意見や、在日米軍基地見直しの中間発表を前にした交渉でした。沖縄、関西からの上京団を含めて11人が参加しました。交渉のポイントは3点。

① オスプレイ配備と普天間基地の補修は、

外務省は、オスプレイ配備は古い機種を新しい機種に変更するもの。普天間基地で滑走路補修は米国の予算で2005年、2010年にも行っている。防衛省からは、今回の日米協議の議題に上がっているが、滑走路の補修は未だ決まっていないとしました。

② 辺野古アセス評価書に対する知事意見について、

防衛省は有識者研究会4人の氏名肩書と、さらに委員の参加を検討している。防衛省の下で有識者研究会は評価補正を進めるが、スケジュールなど具体的な質問については「準備中」と回答を拒否しました。環境省は、知事意見は法の手続きにのっとって適正に行われ

ているが、個別の内容のコメントはさし控える。沖縄防衛局が明らかにした環境保全措置～米軍によるジュゴンへの光や衝突の回避の周知は、埋め立て申請までにしっかりしておくべきであると指摘しました。評価書の補正は有識者研究会ではなく、方法書、準備書にかかわった沖縄防衛局にこそさせるべきです。

③ 9月国際自然保護連合第5回世界自然保護会議にむけた日本政府の姿勢について

昨年7月、環境省はジュゴン保護覚書署名国東南アジア会議に参加しました。私たちだけでなく、事務局からも要請があったからです。2008年IUCN決議の一項目を実行したことになります。今年開かれる第2回署名国会議は、議題と予算面から検討するつもりです。ジュゴン保護については知見を集めているという一方、防衛省の辺野古アセス評価書を検討していないことが明らかになりました。86億円かけたアセス評価書を活用できることは活用すべきである。行動軌跡が明らかな3頭のジュゴン保護施策をただちに実施すべきであると厳しく批判しました。



ジュゴン♥フラッグをアピール
@環境省記者クラブ

<評価補正の有識者研究会> 9人の氏名を公表

荒井修亮	京都大学大学院情報学研究科 社会情報学専攻准教授
池田駿介	東京工業大学名誉教授
茅根創	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 教授
五箇公一	(独)国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 主席研究員
橘秀樹	千葉工業大学附属総合研究所教授
中村由行	(独)港湾空港技術研究所研究主監
原武史	(社)全国水産技術者協会理事長
松田裕之	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

交渉に参加して

4月20日、外務省、防衛省、環境省との交渉に参加しました。まず、沖縄県知事の「新基地建設と環境保全との両立は不可能」という、環境アセス評価書への意見書が、政府に対する強い圧力になっていると感じました。

外務省はモロッコでのオスプレイの墜落事故について、原因を米側に照会していると弁明に終始。防衛省は、知事意見に対応するために「有識者委員会」を開催し、委員の名前も明らかにしましたが、ジュゴンの専

門家がない、との指摘にはだんまり。環境省は昨7月のジュゴン保護覚書署名国東南アジア会議に参加したことを明らかにし、その際の資料もその場で配布しました。また環境省記者クラブで、記者会見し交渉内容とIUCN会議にむけたジュゴンフラッグキャンペーンを紹介しました。知事意見は、SDCCも含めた運動の大きな到達点。政府は身動きできなくなっています。「基地ではなくジュゴン保護区」を実現する強い手ごたえを感じました。IUCN 濟州島会議にむけてGO！（関西 松島洋介）

毎月15日はジュゴンの日は皆様ご存知でしょうか?! 4月15日は日曜日で、関西恒例となりました「ジュゴンでトレイン」をこの日に開催しました。今年はバージョンアップしてジュゴンでトレインに直接参加できない方でもできるように文字通り「あっちでこっちで」していただき、写真を送っていただきました。やり方やアピールの仕方は自由。自由すぎてやり方がわからなかった方もあった点は反省m(_ _)mですが、各地での報告をいただくと皆様笑顔でこちらまで楽しくなりました!

あっちで☆ こっちで☆ ジュゴンでトレイン! しました~



関西では大阪駅を拠点に環状線をぐるりと一周してアピールしました。そして大阪駅、京橋駅、天王寺駅と下車して駅前で署名を集めました。どの駅でも反応がよくたくさんの署名をいただきました。「みなさ〜ん、ジュゴンって知ってますか?」とマイクでわかりやすく説明したこともいい効果につながったと思います。

天王寺駅では陸橋がただ今改修工事中で使えないため、新しくできたあべのキューズタウン前で署名を集めました。ここも工事途中であるせいか、とても広い場所ですることができ、ジュゴンアピールをするには持ってこいの場所でした。天王寺は若さがある街で、マイクの呼びかけに多くの若者が興味を持って署名をしてくださりました。

着ぐるみジュゴンに紅型の衣装、プラカードやプラバンで作った大きなジュゴンは、どこでもとても目立ち、歩くだけでもそうとう注目を集めたと思います。目立ってなんぼ! 関西パワーで来年も続けていきたい企画です! (関西 上田千鶴)

全国から寄せられた「あっちで☆こっちで☆」

映画「Marines Go Home」の藤本監督と影山プロデューサー



“辺野古と高江、そしてフクシマ”
基地と原発事故を考えるキャラバン”
国分寺 (4/14) のイベント会場で

ジュゴンの海をずっと守り続けて、
この日は座り込み2919日目



辺野古テント村から

(撮影: 牧志治さん)

お行儀よく座るジュゴンちゃん♥
パネルでアピール



西条駅から広島駅へ向かう車中から
(Facebook での呼びかけに reacting)



宮古島・トライアスロンレースの
スタート地点から



グリーンアクションさいたまの皆さん
毎月15日前後の土日に、ジュゴン
キャンペーンをされています



他のイベントに行く途中の方からも、
メッセージが届きました。

4/21-22アースデイTOKYOに参加しました

私はアースデイに数年間参加して署名集めをしています。今年は署名をお願いした方のなかで「辺野古に行ってきたよ！」という方が多かったような気がします。辺野古という地名を知っている方も数年前に比べたらとても多かったです。ですが、沖縄にジュゴンが棲んでいて、辺野古にジュゴンの餌場があり貴重な生物が棲んでいることを知っている方はまだ少ないという印象でした。昨年原発事故をきっかけに、ライフスタイルや価値観が変わった日本人は多くいると思います。これをきっかけに、少しでも周りの方や様々な生物に目を向けてくれる方が増え、私たちの思いを共有出来る方々が増えていくといいなと思います。沢山の方々と出会える一大イベント、来年も楽しみます。
(首都圏 鈴木陽)



SDCCのブースは、いつも大にぎわい

今年もアースデイ東京に参加しました。天気はぐずつき、気温もずいぶん下がりましたがみんな元気に活動しました。いつ来ても大勢の人出で賑わう東京アースデイ。今年も多くの署名を戴くことが出来ました。今年ワールドオーシャンズデイというNPOの企画で中央ステージ横に海や水を守る活動に取り組む団体を集めた「オーシャンズ ピープル」というエリアを設定してスタンプラリーをするなど、より多くの人に海や水の環境を守る大切さを伝える工夫がされました。着ぐるみや人目を引く様々な展示物などでどのブースも大盛況。もちろん、ジュゴンのブースも常に多くの人で賑わいました。ジュゴンの海を護る声がますます広がるといいですね。

(関西 海勢頭聖)



「オーシャンズピープル」のスタッフミーティングでジュゴンロック♪他のブースのスタッフの皆さんも一緒に踊ってくれました。

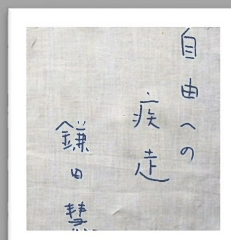
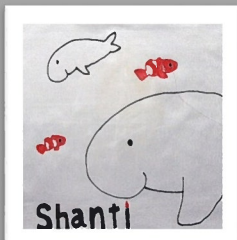


「オーシャンズピープル」エリア



ジュゴン♡フラッグ＊ギャラリー

「国際会議にあなたの声を届けよう」との呼びかけに、どこでもたくさんのフラッグが集まります。うれしいのは、皆さん楽しそうに描いてくれること。800枚近く集まっています。目標の1000枚目前！！



～ワッター海の写真展～

開催
しました



♡“大浦湾の生きものたち”♡



不思議で繊細でユニークな海の生きものたち。大浦の海をこよなく愛する“ダイビングチーム すなっくすナフキン”が撮りためた写真を会場いっぱい飾りました。

誰もが「こんなにいろんな生き物がいるのね」「ほんとうに綺麗な海ね」と写真に見入り、「基地を造るために壊したらあかん!」と共感してくれました。

今回はくつろぎスペースを作ったので、お茶やお菓子をつまみながらゆっくりお話ができ、ジュゴンフラッグも描いてもらえました。

印象深かったのは、隣で開催の避難者交流会の帰りに、何組もの親子が写真展にも寄って下さったことです。いろいろお話しができ基地も原発もいらぬねと納得。のんびりモードのジュゴンに子どもたちも笑顔。ほっとする場を提供できたことは嬉しいことでした。

支え合ったり、思いを共有したり、SDCCの活動を通してそんなことも広げていけたらいいな～と思います。また今回はたくさんの賛同を頂き感謝しています。

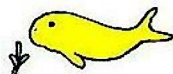
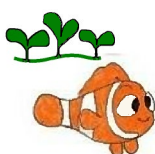
(関西 池側恵美子)



写真を見たあと、ゆっくりとフラッグを描く来場者のみなさん

写真展のご案内

首都圏



6月16日(土)～17(日)、なかのZERO1階美術ギャラリーにて、「写真家山本英夫～沖縄 基地の重圧をゆるがす」&ジュゴン保護キャンペーンセンタージョイント写真展を開催します。

9月に韓国濟州島で開催されるIUCN(国際自然保護連合)の世界自然保護会議にむけて、「沖縄のジュゴンを守れ!」のキャンペーンを強化したいと考えています。今回、ジョイント写真展と一緒に開催する山本さんは、今年のじゅごんの里ツアーで現地合流されました。山本さんは、「普天間・辺野古・高江・与那国等(自衛隊を巡る動向)を凝視し、沖縄に基地を当然のごとく押しつける『日本』。安保で『安心』したがる『日本人』。これでほんとうにいいのか? 問い直したい」と呼びかけています。

沖縄の現状と今後の展望をこのジョイント写真展で交流したいと考えています。

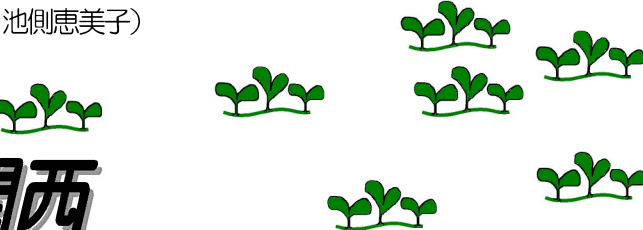
日時: 6月16日(土) 13時～19時
(交流会: 17時～18時)
6月17日(日) 10時～17時
(交流会: 15時～16時)

・交流会: トーク ～写真家山本英夫さん、
アピール～ジュゴン保護キャンペーンセンター

場所: なかのZERO西館1階美術ギャラリー
東京都中野区中野2-9-7、03-5340-5000(代)

入場無料

関西



6/16(土)すいた環境教育フェア2012に出展☆
～牧志治さんの写真を展示します～

大阪吹田市・メシアターで開催される「すいた環境教育フェア」に出展します。色々な環境団体の展示だけでなく、手作りおもちゃ・紙すきハガキ作りなどの体験コーナーや、舞台での演劇発表と盛りだくさんのイベントです。親子連れなどでにぎわうので、多くの方にジュゴンのことを知ってもらおう大チャンス☆

SDCCは牧志治さんの写真展示のほか、ジュゴン折り紙、ジュゴングッズ作りを体験してもらったり、ジュゴンの映像も見てもらおうと張り切っています。

日時 6月16日(土) 10時～16時
場所 吹田市文化会館 メシアター 1F展示室
(阪急吹田駅下車すぐ)

入場無料
*牧志治さんは、辺野古・大浦湾をフィールドにしているフリーランスの写真家。素晴らしい海と生きものの写真を見に来てください。



写真: 牧志治

韓国に出国拒否された部 ~ コラム・コラム ~

4月2日、「四・三事件」の慰霊祭へ参加するため済州へ渡航中の海勢頭代表が、34人の一行中1人だけ韓国の済州空港で入国拒否に会い、8時間ほど足止めを受けた後そのままとぼ返りで帰国を余儀なくされるという珍事件が起きました。今回のコラムではその経緯を紹介下さっています。



今年3月24日は、例年のごとく済州四・三事件を考える沖縄集会を開催した。実行委員会名ではあるが、実質的に私が会長を務める漢拏山（ハルラ山）会が主体である。私が沖縄9条連の共同代表であることもあって、漢拏山会は本土9条連の仲間と共に、2008年に済州島で行われた「済州四・三事件犠牲者追悼慰霊祭60周年」に参加したことをきっかけに組織した会である。

08年には遺族会主催の慰霊祭で「トラジの花」を歌い、前夜祭で「キセンハル」を歌った。遺族会との交流が深まる中で、翌09年には「ハルラ山」の歌を作り、広大な平和公演の舞台で一人で歌うようになった。四・三慰霊祭という特別な儀礼で歌えることは名誉なことではあるが、平和に対する真摯な責任が伴ってくる。

前夜祭には韓国芸能界の歌手など多数出演するので

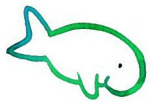
あるが、慰霊祭の祈りの舞台では、何故か一人で立って歌うことになっていた。四・三遺族会としては沖縄と連帯し、済州を真に平和な島にしたいとの思いがあったことだった。

私が四・三で歌うたびにテレビ局や新聞社の取材を受けるようになり、また辺野古の米軍基地反対闘争などを直接取材しに沖縄を訪れるようになり、さらに私の西原の自宅まで取材しにくるようになったのである。

当然私は「辺野古の米軍基地反対闘争は、済州島のカンジョン海軍基地建設反対闘争と連帯すべき問題である。しかもその闘争は、沖縄と済州の祭祀文化の神である龍宮神ジュゴン、即ち海神を護る運動と認識した上で取り組まなければならない」とのメッセージを発してきた。

ところが、よせばいいのに今年四・三慰霊祭のスローガンに、遺族会が「カンジョン海軍基地建設反対」を掲げてしまったというのであった。折しも国会議員選挙前の緊張した状況でのことで、私が済州空港で入国拒否されたというのも「まあ、仕方がないか」と笑う程度の事件であった。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）



おきなわ便り

～台風予知の樹～

ゴールデンウィークが終わり、夏が到来します。沖縄の夏とセットなのが台風！

「今年は台風が来るねー」

うちなあんちゅは、ある木を見て、その年の夏に来る台風を占うことがあります。これは、特別な能力を持つ人のみが分かるのではなく、その花が良く咲く年は台風の当たり年になるという言い伝えがあるからです。

その花とは？

ゴールデンウィーク前後ごろに咲く花で、真っ赤よりもやわらかいしゅ色をしており、葉が散って、花だけが枝に咲きます沖縄の晴天時の真っ青な空とのコントラストは沖縄の夏を象徴しているかのようにくっきりとした鮮やかな色で、見た人は、思わずカメラのシャッターを押してしまいます。

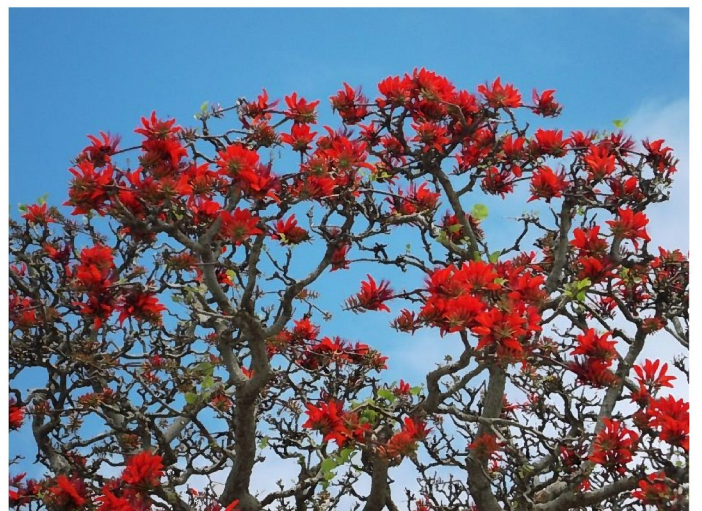
そんな一度みると心に焼き付く花とは、

沖縄県花『デイゴ』です！

デイゴは沖縄の人達にとって、大切なことを伝えてくれる花なんです。

さて、今年の開花ですが、4月中旬に沖縄の北部で開花のニュースが新聞に掲載されました。今年はどうに咲くか楽しみです。

（沖縄 仲村幸子）



第7回じゅごんの里ツアー

『基地に頼らない暮らし』と取り組む名護市の辺野古・大浦湾を訪れ基地の現状を知り、地元の方々と交流し、やんばるの豊かな自然、文化、歴史にふれるツアーです。皆さまのご参加をお待ちしています。

<ツアースケジュール>

7月6日(金)

- ・佐喜真美術館見学、普天間基地を外から見学予定。
- ・名護市表敬訪問(予定・調整中)

7月7日(土)

- ・辺野古座り込みテント村を訪問
- ・船で大浦湾めぐり(じゅごんの里・東恩納琢磨さんの案内)
(天候が良ければシュノーケリングもできます)
- ・キャンプ・シュワブ前ピースキャンドル行動
- ・夕食時、地元の方と交流

7月8日(日)

浦島悦子さん(名護市在住のフリーライター)のご案内で名護市東海岸散策、またはわんさか大浦パークでカヌー体験

※予定は天候や都合などにより変更する場合があります。



締め切り 5月31日(木)

ツアー費用 75000円(羽田・伊丹発着)

※費用内訳: 飛行機・宿泊2泊・船・レンタカー・ガイド料・保険・食事(1日目の夕食~3日目の昼食まで)

※現地参加や途中参加もできます(締め切りは6月20日)。現地参加費は参加形態により異なりますのでお問い合わせください

(那覇からの参加で28000円)。

※下記事務所までご連絡いただければ、申し込み用紙をお送りします。

*6/17(日) 原発を問う民衆法廷・大阪法廷PART2

会場: 大阪市立平野区民ホール

(地下鉄谷町線平野駅下車 徒歩10分)

参加傍聴券: 1000円(学生、無職の方など500円)

*7/28(土) 29(日)

平和と民主主義をめざす全国交歓会・第42回大会

会場: エル大阪(地下鉄・京阪天満橋駅下車 徒歩10分)

*SDCCは2日目の午前中に分野別討議を企画予定

Editor's Note

このところ、街頭やイベントでジュゴンの署名やフラッグに協力してくれる人が増えています。「いのちを大切にしたい」「自然を守りたい」との思いが広がっているのではと考えます。平和のメッセンジャー♥ジュゴンが、豊かな未来を広げてくれる、と期待しながら活動しています。(山根)

新しい一筆箋出来ました~☆



1冊200円+送料一律80円

(イラストは3種類×8枚24枚つづりです)

お申込みは同封の振り込み用紙を使用するか、下記口座まで代金をお振り込みください。

◆口座名・・・ジュゴン保護キャンペーンセンター

◆口座番号・・・00140-9-660199

申し込み冊数、お名前、ご住所、お電話番号を忘れずに記入して下さい



ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.62 2012年5月22日発行

ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)

〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1

第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377

○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp

(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302

TEL/FAX 06-6353-0514



ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!